



松戸市ゆかりの画家 板倉鼎・須美子の作品 284点を市に寄贈

このほど、松戸ゆかりの画家、板倉鼎・須美子の作品が、板倉鼎のご遺族から松戸市教育委員会および三館の美術館に寄贈されました。

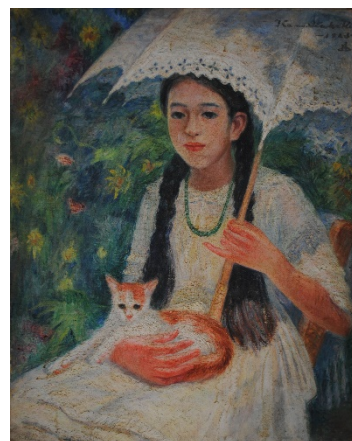
1 寄贈の概要

(1) 寄贈者

神崎眞子（かんざき・みちこ）様 ※板倉鼎の姪
板倉 剛（いたくら・ごう）様 ※板倉鼎の甥の長男

(2) 寄贈先と寄贈点数

松戸市教育委員会	284点		
千葉県立美術館	248点		
千葉市美術館	33点		
大川美術館	10点	合計	575点



板倉鼎作「少女と子猫」

2 寄贈作品の一般公開

松戸市に寄贈された作品の一部を一般公開いたします。

- (1) 日 時 令和3年7月20日（火） 12時30分～16時
- (2) 場 所 松戸市役所新館5階 市民サロン
- (3) 公開予定点数 16点
- (4) 来場者へのお願い

- ・新型コロナウイルスの感染状況により、上記の予定を変更または中止する場合があります。その場合は松戸市HPでお知らせいたします。
- ・ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。
- ・ご体調のすぐれない方はご来場をお控えください。
- ・混雑を緩和するため、ご来場を一時的にお待ちいただく場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市生涯学習部社会教育課 ☎047-366-7463

FAX047-366-7055 ✉mcsbakaikyoku@city.matsudo.chiba.jp

板倉鼎・須美子作品の寄贈について

1 板倉家の作品調査

松戸市教育委員会は、松戸ゆかりの優れた美術を市民にお伝えするため、調査にもとづいて作品の収集や展覧会を続けています。平成3～4年度には、エコール・ド・パリの画家、板倉鼎（1901-1929）の作品調査を松戸市内のご実家で実施しました。板倉家では、鼎と妻の須美子（1908-1934）が昭和初年に若くして亡くなってから、二人の作品を長い間大切に保管しておられました。鼎の学生時代の作品のほか、パリ留学中に描かれた作品、さらに書簡や写真などの貴重な関連資料も多数含まれていました。

2 これまでの寄贈

これまでに、鼎・須美子作品189点と関連資料491点が、板倉家より松戸市教育委員会に寄贈されました。

3 松戸市の顕彰事業

松戸市教育委員会は、これらの作品、関連資料を活かして板倉夫妻の顕彰事業を続けてきました。

(1) 展覧会

・よみがえる画家 板倉鼎・須美子展（平成27年、松戸市立博物館）

・ “ ” “ ” （平成29年、目黒区美術館） ※松戸市教育委員会特別協力

・フジタとイタクラ エコール・ド・パリの画家、藤田嗣治と板倉鼎・須美子展

（平成31年、聖徳博物館） ※聖徳大学・聖徳大学短期大学部と共同主催

その他、企画展や所蔵品展で作品を展示公開してきました。

(2) 『板倉鼎・須美子書簡集』(令和2年)

鼎と須美子が留学先のパリなどから松戸の板倉家へ宛てて書き送った書簡371通を活字化・編集して刊行しました。

4 今回の寄贈

今回の作品寄贈は、板倉夫妻の作品・関連資料の保存に生涯尽力された板倉弘子さん(鼎の妹さん)が令和2年にご高齢により死去されたことに伴うものです。弘子さんは生前、板倉家の作品を松戸市に一括寄附する意向でしたが、松戸市はすでに多くの主要な作品の寄贈を受けていること、また展示施設の開設まで時間を要し、それまで展示公開の機会を頻繁には持てないことから、板倉鼎ゆかりの美術館等と作品を分けて寄贈を受け、連携して板倉夫妻の画業を顕彰していきたいと考え、ご家族の了承を得て、鼎ゆかりの美術館等にお声かけをしました。

その結果、下記の美術館3館と松戸市が分散して寄贈をお受けしました。

(1) 千葉県立美術館：248点(油彩画18点、水彩・素描・版画等228点、他作家の作品2点)

☞千葉県立美術館は1978年に戦後初めて板倉鼎展を開催し、千葉県ゆかりの画家として鼎を紹介しました。

(2) 千葉市美術館：33点(油彩画16点、水彩・素描等17点)

☞鼎は千葉県立千葉中学校(千葉市の県立千葉高等学校の前身)の出身であり、千葉市にとってもゆかりの画家です。

(3) 大川美術館：10点(油彩画6点、水彩・素描等4点)

☞実業家の故大川栄二氏が、自身のコレクションを公開するため1989年に出身地の群馬県桐生市に設立した美術館です。同館はエコール・ド・パリの画家たちをはじめ、板倉夫妻と同時代の近代絵画を多数所蔵しています。

(4) 松戸市：284点(油彩画137点、水彩・素描等143点、他作家の作品4点)

☞松戸市では、これまでに寄贈を受けた作品と共に良好な環境で保存しながら、今後も展示公開の機会をつくり、板倉夫妻の画業の顕彰に努めていきたいと考えています。

板倉 鼎（いたくら かなえ） 略歴

1901（明治34）年3月、埼玉県北葛飾郡旭村（現在の吉川市）に生まれる。板倉家は代々医業を営んでいた。

1904（明治37）年、父が松戸町で医院を開業。鼎が小学生の時、一家は松戸に転居する。

1918（大正7）年、千葉県立千葉中学校を卒業。在学中、洋画家堀江正章の指導を受ける。

1919（大正8）年、東京美術学校西洋画科に入学。岡田三郎助、田辺至の指導を受ける。同級生の岡鹿之助とは、後年留学先のパリで親交を深める。

1921（大正10）年、第3回帝展に《静物》が初入選。

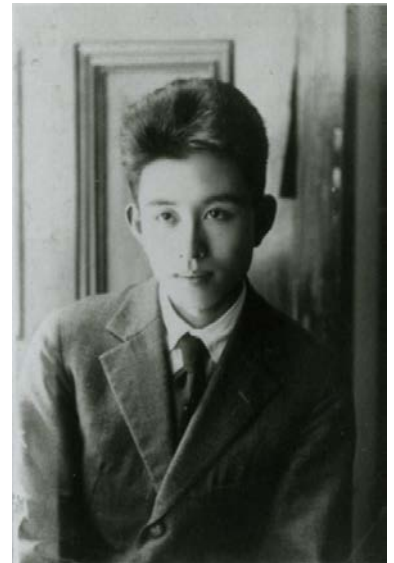
1924（大正13）年、東京美術学校西洋画科を卒業。

1925（大正14）年、昇（のぼり）須美子と結婚。

1926（大正15）年2月、妻・須美子と共にフランス留学に出発。途中ハワイに4か月間滞在。ホノルルで個展をひらいた後、アメリカ本土を經由し、7月にパリに到着する。

1927（昭和2）年11月、サロン・ドートンヌ入選。その後1929年に急逝するまで、サロン・ナショナル、サロン・デザンデパンダンなどフランスの主だった展覧会に入選、出品を重ねる。

1929（昭和4）年9月29日、敗血症のためパリの自宅で没。享年28。



板倉 須美子 (いたくら すみこ) 略歴

1908 (明治 41) 年 5 月、ロシア文学者昇曙夢 (のぼり・しょむ) の長女として、東京市麴町に生まれる。

1921 (大正 10) 年、文化学院に第一回生として入学。

1925 (大正 14) 年に文化学院中等部を卒業し大学部に進むが、結婚のため中退。11 月、文化学院の恩師だった歌人と謝野寛・晶子夫妻の媒酌により板倉鼎と挙式。



1926 (大正 15) 年 2 月、鼎のフランス留学に同行して日本を発つ。途中ハワイに滞在し、7 月よりパリに住む。

1927 (昭和 2) 年 9 月、鼎の導きで油絵を始める。絵筆を執って間もない 11 月にはサロン・ドートンヌに初入選。その後も 1929 年まで 3 年連続入選。12 月、長女一 (かず) が誕生。

1929 (昭和 4) 年 4 月、仏蘭西日本美術家協会パリ 1 回展に出品した作品が藤田嗣治に絶賛される。5 月、次女二三 (ふみ) が誕生するが、6 月に死去。9 月に夫・鼎が急逝したため、一を伴い帰国。12 月に松戸町の板倉家に戻る。

1930 (昭和 5) 年 1 月、長女一が死去 (享年 2)。

1931 (昭和 6) 年、神奈川県鎌倉町稲村ヶ崎の実家・昇家に復籍する。佐伯米子の紹介で有島生馬に絵の指導を受ける。

1932 (昭和 7) 年、結核が発覚し、病床に就く。

1933 (昭和 8) 年、美術団体「新油絵」の結成に参加。

1934 (昭和 9) 年 5 月 10 日、鎌倉町稲村ヶ崎の自宅で没。享年 25。

寄贈式展示作品リスト

no.	作者	作品名	制作年	月	日	材質技法
1	板倉鼎	水辺の風景	1919-26 年頃			キャンバス、油彩
2	板倉鼎	水辺の風景	1919-26 年頃			板、油彩
3	板倉鼎	薄日の午後の海	1921 年	3 月	16 日	板、油彩
4	板倉鼎	少女と子猫	1923 年			キャンバス、油彩
5	板倉鼎	カーネーションとガーベラ	制作年不明			キャンバス、油彩
6	板倉鼎	風景	1926 年			キャンバス、油彩
7	板倉鼎	雲とアザミ (エスキース)	1928 年			紙、ペン、水彩
8	板倉鼎	赤ちゃんを抱く須美子 (エスキース)	1928 年			紙、ペン、水彩
9	板倉鼎	テーブルにつく赤衣の女 (エスキース)	1928 年			紙、ペン、水彩
10	板倉鼎	姉妹 (エスキース)	1929 年			紙、水彩
11	板倉鼎	黒椅子による女 (エスキース)	1928 年			紙、ペン、水彩
12	板倉須美子	ハワイの丘 (エスキース)	1928 年			紙、ペン、水彩
13	板倉須美子	虹 ベル・ホノルル5 (エスキース)	1927-29 年頃			紙、ペン、水彩
14	板倉須美子	ベル・ホノルル12 (エスキース)	1927-29 年頃			紙、ペン、水彩
15	板倉須美子	虹 (エスキース)	1927-29 年頃			紙、ペン、水彩
16	板倉須美子	ベル・ホノルル (エスキース)	1929 年			紙、ペン、水彩



01



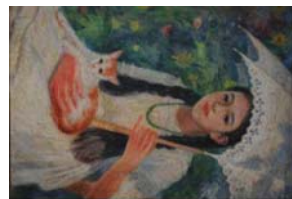
02



03



03裏面



04



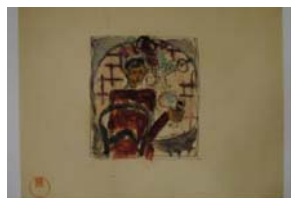
06



07



08



09



10



11



12



13



14



15



16